１．件　名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所２号炉工事計画）（２１５）

２．日　時：令和３年９月９日　１１時２０分～１２時３０分
　　　　　　　　　　　　　　　１３時３０分～１８時４５分

３．場　所：原子力規制庁　８階Ａ会議室（一部ＴＶ会議システムを利用）

４．出席者：（※　ＴＶ会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官※、皆川主任安全審査官、服部安全審査専門職、山浦技術参与

技術基盤グループ　地震・津波研究部門

堀野技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部　原子力部　課長、他１名

原子力本部　原子力部　副長、他１１名※

５．要　旨

（１）東北電力株式会社から、女川原子力発電所２号炉の工事計画補正申請のうち、「格納施設の耐震計算書」、「動的機能維持評価」等について、提出資料に基づき説明があった。

（２）これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

＜ダウンカマの耐震性についての計算書＞

○　ベントヘッダサポート、ピン及びエンドプレートについて、使用材料の許容応力評価条件を整理して説明すること。

○　ベントヘッダサポートについて、構造強度評価における応力分類の妥当性を説明すること。

（３）東北電力株式会社から、（２）について了解した旨の回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和３年４月２８日　第６回原子力規制委員会配付資料３）を踏まえ、一部対面で実施した。

６．その他

提出資料：

（１－１）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震計算書（格納施設関係））（Ｏ２－他－Ｆ－１９－００４５＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２）補足－６００－４０－２５　クラスＭＣ容器における一次＋二次＋ピーク応力の取り扱いについて（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－２５＿改０）（令和３年７月９日提出資料）

（１－３）Ⅵ－２－９－２－１－１　ドライウェルの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２４８＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－４）Ⅵ－２－９－２－１－３　原子炉格納容器シヤラグの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２４９＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－５）補足－６００－４０－４６　原子炉格納容器シヤラグの鉛直地震荷重の考慮について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－４６＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－６）Ⅵ－２－９－２－２－１　機器搬出入用ハッチの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２５０＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－７）Ⅵ－２－９－２－２－２　逃がし安全弁搬出入口の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２５１＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－８）Ⅵ－２－９－２－２－３　制御棒駆動機構搬出入口の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２５２＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－９）Ⅵ－２－９－２－３－１　所員用エアロックの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２５３＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１０）Ⅵ－２－９－２－４－１　原子炉格納容器配管貫通部の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０２５４＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１１）Ⅵ－２－９－２－４－２　原子炉格納容器電気配線貫通部の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０１２３＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１２）補足－６００－４０－２６　原子炉格納容器電気配線貫通部の設計荷重について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－２６＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１３）Ⅵ－２－９－２－１－２　サプレッションチェンバの耐震性につ

いての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－０８－０００１＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１４）補足－６００－４０－２７　水力学的動荷重の分布について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－２７＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１５）Ⅵ－２－９－２－１－４　ドライウェルベント開口部の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０１７８＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１６）Ⅵ－２－９－２－１－５　ボックスサポートの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０４５３＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１７）Ⅵ－２－９－４－１　ダウンカマの耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０１７９＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１８）Ⅵ－２－９－４－２　ベント管の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０１８０＿改１）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－１９）補足－６００－４０－２８　真空破壊弁の機能維持確認済加速度について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－２８＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２０）Ⅵ－３－３－６－１－１－７　サプレッションチェンバの強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－０８－００１９＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２１）Ⅵ－３－３－６－１－１－８　ボックスサポートの強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－０８－００２０＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２２）Ⅵ－３－３－６－１－１－４　ドライウェルベント開口部の強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－２０－０１５５＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２３）Ⅵ－３－３－６－１－１－５　ジェットデフレクタの強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－０８－００１７＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２４）Ⅵ－３－３－６－１－４－２　原子炉格納容器配管貫通部の強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－０８－００３３＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２５）Ⅵ－３－３－６－２－２　ダウンカマの強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－２０－０１５６＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２６）Ⅵ－３－３－６－２－３　ベントヘッダの強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－２０－０１５７＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２７）Ⅵ－３－３－６－２－５　ベント管の強度計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－２０－０１５８＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２８）Ⅵ－３－３－６－２－６　ベント管ベローズの強度計算書（Ｏ２－

エ－Ｂ－２０－０１５９＿改０）（令和３年８月２７日提出資料）

（１－２９）補足－６００－４０－１７　原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と応答倍率評価について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－１７＿改３）（令和３年８月２７日提出資料）

（２－１）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－０００４＿改３７）（令和３年９月３日提出資料）

（２－２）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震評価：原子炉本体基礎の復元力特性）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－００１０＿改７）（令和３年９月３日提出資料）

（２－３）補足－６００－１４－３　動的機能維持評価対象弁の選定（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－１４－３＿改１）（令和３年９月３日提出資料）

（２－４）補足－６００－８－１　建屋－機器連成解析モデルの時刻歴応答解析における材料物性の不確かさ等を考慮した設計用地震力の設定について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－８－２＿改３）（令和３年９月３日提出資料）

（２－５）補足－６００－８－３　建屋－機器連成解析モデルにおける原子炉本体の基礎の非線形復元力特性等の設定に関する補足説明資料（Ｏ２－補－Ｅ－０３－０６００－８－３＿改３）（令和３年９月３日提出資料）

（２－６）Ⅵ－２－１１－２－２２　燃料チャンネル着脱機の耐震性についての計算書（Ｏ２－エ－Ｂ－１９－０４５５＿改０）（令和３年９月３日提出資料）

（２－７）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－０００４＿改３０）（令和３年８月６日提出資料）

（２－８）補足－６００－４０－１　機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－１＿改１）（令和３年８月６日提出資料）

（２－９）補足－６００－４０－６　Ｂｉｊｌａａｒｄの方法の適用文献について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－６＿改１）（令和３年８月６日提出資料）

（２－１０）補足－６００－４０－７　剛な設備の固有周期の算出について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－７＿改１）（令和３年８月６日提出資料）

（２－１１）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－０００４＿改３２）（令和３年８月１９日提出資料）

（２－１２）補足－６００－４０－５　耐震性についての計算書における評価温度の考え方について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－５＿改０）（令和３年８月１９日提出資料）

（２－１３）補足－６００－４０－８　ヤング率を設計基準事故と重大事故等とで変更しないことによる評価への影響について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－８＿改０）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１４）補足－６００－４０－９　配管耐震・応力計算書における計算モデルについて（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－９＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１５）補足－６００－４０－１０　管の耐震評価における相対変位の考慮方法について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－１０＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１６）補足－６００－４０－１１　配管解析における重心位置スペクトル法の適用について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－１１＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１７）補足－６００－４０－３５　ボルトの評価断面について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－３５＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１８）補足－６００－４０－３６　ダクトの耐震計算方法について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－３６＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－１９）補足－６００－４０－３７　ダクトの座屈評価で用いる補正係数，安全係数の設定根拠について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－３７＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－２０）補足－６００－４０－３８　ダクトの耐震支持間隔算定時におけるサポート剛性の取扱いについて（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－３８＿改１）（令和３年８月１９日提出資料）
（２－２１）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－０００４＿改３３）（令和３年８月２０日提出資料）
（２－２２）補足－６００－４０－４　主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－４＿改１）（令和３年８月２０日提出資料）
（２－２３）補足－６００－１０　機電設備の耐震計算書の作成について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－１０＿改４）（令和３年８月２０日提出資料）
（２－２４）補足－６００－３　【地震時荷重と事故時荷重との組合せについて】（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－３＿改３）（令和３年８月２０日提出資料）
（２－２５）補足－６００－１９　【重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて】（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－１９＿改３）（令和３年８月２０日提出資料）
（２－２６）補足－６００－４０－４０　耐震評価における流体中の構造物に

対する付加質量及び応答低減効果の考慮（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－４０－４０＿改３）（令和３年９月３日提出資料）

（２－２７）補足－６００－７　機器・配管系の耐震設計における剛柔判定を行う固有周期について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－７＿改２）（令和３年９月３日提出資料）

（２－２８）女川２号工認　指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（Ｏ２－他－Ｆ－１９－０００４＿改３８）

（２－２９）補足－６００－１４－１　動的機能維持の詳細評価について（新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について）（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－１４－１＿改５）

（２－３０）補足－６００－１４－２　弁の応答加速度の算出について（Ｏ２－補－Ｅ－１９－０６００－１４－２＿改４）

以上